

	検査期間	検査点数	基準値超過点数	超過割合
野菜類	事故後から平成23年度	12,671	385	3.0%
	平成24年度	18,570	5	0.03%
	平成25年度	19,657	0	0%
	平成26年度	16,712	0	0%
	平成27年度	12,205	0	0%
	平成28年度	10,810	0	0%
	平成29年度	8,275	0	0%
	平成30年（8月8日まで）	2,440	0	0%

	検査期間	検査点数	基準値超過点数	超過割合
果実類	事故後から平成23年度	2,732	210	7.7%
	平成24年度	4,478	13	0.3%
	平成25年度	4,243	0	0%
	平成26年度	3,302	0	0%
	平成27年度	2,783	0	0%
	平成28年度	2,155	0	0%
	平成29年度	1,579	1	0.06%
	平成30年（8月8日まで）	210	0	0%
豆類	事故後から平成23年度	689	16	2.3%
	平成24年度	5,962	63	1.1%
	平成25年度	5,167	21	0.4%
	平成26年度	3,459	4	0.1%
	平成27年度	1,813	0	0%
	平成28年度	957	0	0%
	平成29年度	495	0	0%
	平成30年度（8月8日まで）	-	-	-



※集計対象：食品中の放射性物質に関する「検査計画、出荷制限等の品目・区域の設定・解除の考え方」において、検査対象自治体となっている17都県

農産物に含まれる放射性セシウム濃度の検査結果（農林水産省）、食品中の放射性物質の検査結果について（厚生労働省）より作成

野菜類、果実類、豆類の生産や出荷にあたっては、カリウム肥料の施肥による放射性セシウム吸収抑制対策等を行っています。

野菜類、豆類は平成27年度産以降、平成30年8月現在まで、基準値超過はみられません。

また、果実類は、平成25年度産以降、平成28年度まで基準値超過はみられませんでした。平成29年度産では、基準値超過1件となっています。なお、この基準値とは、平成24年4月より設定された100Bq/kgのことを指します（平成23年度は暫定規制値が適用されていましたが、平成24年以降の結果と比較するために、現在の基準で集計しております）。平成30年度産（8月現在）では、基準値超過はみられません。

本資料への収録日：平成30年2月28日

改訂日：平成31年3月31日